

安全データシート

Hokusan Timberex Danish Oil Driftwood



1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Hokusan Timberex Danish Oil Driftwood
製品コード : PWH296
製品タイプ : 液体

推奨用途及び使用上制限

意図される使用	
Professional use 産業用	
合理的に予見可能な誤使用	理由
Consumer use	製品は消費者の使用のために意図されていない。

供給者の会社名称 : Rust-Oleum Europe – Martin Mathys NV, Kolenbergstraat 23, B-3545 Zelem, ベルギー
電話番号: +32 (0) 13 460 200
Fax 番号: +32 (0) 13 460 201
電話番号: 日本 007981 42063765

緊急連絡電話番号(受付時間) : 緊急連絡電話番号(受付時間)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 引火性液体 – 区分4

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 可燃性液体。
注意書き
安全対策 : 炎および高温のものから遠ざけること。禁煙。
応急措置 : 該当しない
保管 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
廃棄 : 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。

他の有害性 : 認知済みのものは無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物
化学物質を特定する他の方法 : データなし

CAS 番号／他の特定名

CAS 番号 : 該当しない
化審法番号 : データなし
安衛法番号 : データなし

化学名又は一般名	%	CAS 番号	化審法既存及び新規公示化学物質	安衛法
炭化水素, イソ-アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族	>25 – <50	64742-47-8	9-1702	–
炭化水素, C10-C13は, n-/イソ/シクロアルカン、芳香族(< 2% パーセント)	>10 – <25	64742-48-9	データなし	–
naphtha (petroleum), hydrotreated heavy	<10	64742-48-9	データなし	–
酸化チタン(IV)	<3	13463-67-7	1-558; 5-5225	–

3. 組成及び成分情報

本製品のその他の成分の中には、現在の知識の範囲および該当する濃度において、このセクションで報告が義務づけられている健康または環境に対して有害危険性であると分類される成分は含まれていません。

暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

- | | | |
|------------------|---|--|
| 眼に入った場合 | : | すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。 |
| 吸入した場合 | : | 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。 |
| 皮膚に付着した場合 | : | 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。 |

最も重要な徴候及び症状

予想される急性健康影響

- | | | |
|------------------|---|----------------------|
| 眼に入った場合 | : | 重大な作用や危険有害性は知られていない。 |
| 吸入した場合 | : | 重大な作用や危険有害性は知られていない。 |
| 皮膚に付着した場合 | : | 重大な作用や危険有害性は知られていない。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 重大な作用や危険有害性は知られていない。 |

過剰にばく露した場合の徴候症状

- | | | |
|------------------|---|-----------|
| 眼に入った場合 | : | 特にデータは無い。 |
| 吸入した場合 | : | 特にデータは無い。 |
| 皮膚に付着した場合 | : | 特にデータは無い。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 特にデータは無い。 |

必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置

- | | | |
|----------------------|---|---|
| 医師に対する特別な注意事項 | : | 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。 |
| 特定の治療法 | : | 特定の治療法はない。 |
| 応急処置をする者の保護 | : | 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 |

有害性情報を参照（セクション11）

5. 火災時の措置

消火剤

- | | | |
|--------------------|---|-----------------------------------|
| 消火剤 | : | 粉末化学消火剤、炭酸ガス、ウォータースプレー、泡消火剤を使用する。 |
| 使ってはならない消火剤 | : | ウォータージェットを使用してはならない。 |

特有の危険有害性

- | | |
|---|---|
| : | 可燃性液体。火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり、容器が破裂し、その結果爆発が起こるリスクがある。 |
|---|---|

5. 火災時の措置

- 有害な熱分解生成物** : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある：
二酸化炭素
一酸化炭素
窒素酸化物
金属酸化物
- 特有の消火方法** : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。ウォーターズプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。
- 消火を行う者の保護** : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- 非緊急時対応要員について** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。全ての発火源を遮断する。危険地域には、発火信号、煙草、火焰機器を持ち込まない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

- 環境に対する注意事項** : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。火花の発生しない工具を使用する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。火花の発生しない工具を使用する。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、バーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(セクション13を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。注意：接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。摂取してはならない。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。蒸気や噴霧の吸入を避ける。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。十分な換気がない限り、保管場所および密閉された空間に入らないこと。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。火花を発生させない工具を使用すること。容器が空でも製品の残留物が残存して有害危険性がある。容器を再利用してはならない。

- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

- 安全な保管条件** : 現地の法規制に従って保管する。隔離され認定された場所に貯蔵する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。あらゆる発火源を除去する。酸化性物質に近づけない。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

曝露限界

化学名又は一般名	曝露限界値
酸化チタン(IV)	日本産業衛生学会 (日本, 5/2018)。 OEL-M: 1 mg/m ³ 8 時間。形状: 吸入性粉塵 OEL-M: 4 mg/m ³ 8 時間。形状: 総粉塵 OEL-M: 0,3 mg/m ³ , (Tiとして) 8 時間。形状: ナノ粒子

設備対策

- 換気が十分な場所でのみ使用する。工程の隔離、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し、作業者が曝露される空気中の汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定曝露限界以下に保つ。ガス、蒸気あるいは塵埃の濃度を曝露限界以下に保つためには技術的な管理も必要となる。

環境曝露管理

- 換気装置及び作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げのために煙霧清浄機やフィルター、あるいは工程装置の技術的改良が必要になることもある。

保護具

衛生対策

- 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を十分に洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、着用する前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

保護眼鏡/保護面

- リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への曝露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。推奨: Wear safety glasses with side protection in accordance with EN 166.

皮膚及び身体保護具

手の保護具

- リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。 > 8 時間 (破過時間): ニトリルゴム (EN 374)

身体保護具

- 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。推奨: 続き服あるいは長袖シャツと長ズボン、ニトリルゴムあるいはネオプレン製の保護手袋、ゴム長靴、保護帽子を着用して下さい。(EN 1149-1)

その他の皮膚保護具

- この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

呼吸用保護具

- 使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される曝露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	: 液体
色	: データなし
臭い	: データなし
臭いのしきい値	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 密閉式: >60°C (>140°F)
蒸発速度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: データなし

蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし

9. 物理的及び化学的性質

相対密度 : データなし
溶解度 : データなし
n-オクタノール／水分配係数 : データなし

分解温度 : データなし
自然発火温度 : データなし
粘度 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : いかなる発火源（火花あるいは炎）にも近づけてはならない。加圧、切断、溶接、ロウ付け、はんだ付け、穴あけ、研削を行ってはならず、容器を熱源や発火源に近づけてはならない。

混触危険物質 : 次の物質と反応性あるいは危険配合性：
酸化性物質

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族 炭化水素, C10-C13は、n-/イ ソ/シクロアルカン、芳香族(< 2 パーセント) naphtha (petroleum), hydrotreated heavy	LD50 経皮	ウサギ	>5000 mg/kg	-
	LD50 経口 LC50 吸入した場合 蒸気	ラット ラット	>6312 mg/kg 5000 mg/m ³	- 4 時間
	LD50 経皮 LD50 経口 LC50 吸入した場合 蒸気	ウサギ ラット ラット	>5000 mg/kg >5000 mg/kg 8500 mg/m ³	- - 4 時間
	LD50 経口	ラット	>6 g/kg	-

結論/要約 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	暴露時間	観察
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族	眼 - 角膜混濁	ウサギ	1	-	-

結論/要約

皮膚 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

眼 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

呼吸器系 : 眠気又はめまいのおそれ。

感作性

製品 / 成分の名称	暴露経路	種類	結果
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族	皮膚	ウサギ	非感作性

結論/要約

皮膚 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

11. 有害性情報

呼吸器系 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

変異原性

製品 / 成分の名称	テスト	試験	結果
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族	OECD 471	試験: In vivo 被検体: バクテリア	陰性

結論/要約 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

発がん性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族	陰性 - 経口 - TD	ラット	-	-

結論/要約 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

生殖毒性

製品 / 成分の名称	妊娠毒性	妊性	発生毒性	種類	投与量	暴露時間
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族	-	陰性	陰性	ラット	経口	-

結論/要約 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

催奇形性

データなし

結論/要約 : 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

データなし

特定標的臓器毒性、反復ばく露

データなし

吸引性呼吸器有害性

名称	結果
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族 炭化水素, C10-C13は、n-/イソ/シクロアルカン、芳香族 (< 2% パーセント)	吸引性呼吸器有害性 - 区分1 吸引性呼吸器有害性 - 区分1

可能性のある暴露経路についての情報 : データなし

予想される急性健康影響

眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
 皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
 飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

眼に入った場合 : 特にデータは無い。
 吸入した場合 : 特にデータは無い。
 皮膚に付着した場合 : 特にデータは無い。
 飲み込んだ場合 : 特にデータは無い。

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

短期的にばく露した場合の徴候症状

潜在的な即時性作用 : データなし
 予想される遅発性影響 : データなし

長期暴露

潜在的な即時性作用 : データなし
 予想される遅発性影響 : データなし

11. 有害性情報

健康への慢性効果の可能性

データなし

結論/要約	: 利用可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない。
概要	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
発がん性	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
変異原性	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
催奇形性	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
発育への影響	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖能力に対する影響	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

毒性の数値化

急性毒性の推定

経路	急性毒性推定値(ATE値)
吸入(蒸気)	141,29 mg/l

12. 環境影響情報

毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族	急性 EC10 >1000 mg/l	ミジンコ類	48 時間
	急性 IC10 >1000 mg/l	藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata	72 時間
炭化水素, C10-C13は、n-/イソ /シクロアルカン、芳香族(< 2% パ ーセント)	急性 LC50 2200 µg/l 真水	魚類 - Lepomis macrochirus	4 日
	急性 LOAEL >1000 mg/l	魚類	96 時間
	急性 EC50 >1000 mg/l	ミジンコ類	4 時間
	急性 IC50 >1000 mg/l	藻類	4 時間
	急性 LC50 >1000 mg/l	魚類	4 時間

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族	-	69 % - 容易 - 28 日	-	-

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族	-	-	容易
炭化水素, C10-C13は、n-/イソ /シクロアルカン、芳香族(< 2% パ ーセント)	真水 <28 日, 5 から 25°C	80%; < 28 日	容易
酸化チタン(IV)	-	-	容易ではない

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
炭化水素, イソ - アルカン, C11-C14, < 2% 芳香族	3.5 から 4.7	130 から 150	低
naphtha (petroleum), hydrotreated heavy	-	10 から 2500	高

土壌中の移動性

土壌/水分係数(K _{oc})	: データなし
移動性	: データなし

12. 環境影響情報

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。製品残渣からの蒸気は、容器内部に高度に可燃性または爆発性のガス体を生じさせるおそれがある。使用済み容器は内部が十分に洗浄されていない限り、切断、溶接または粉砕を行ってはならない。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
品名	－	－	－
国連分類 クラス	－	－	－
容器等級	－	－	－
環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。
追加情報	－	－	－

使用者のための特別な予防措置 : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

15. 適用法令

消防法

名称	カテゴリ	種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
Hokusan Timberex Danish Oil Driftwood	第四類	第二石油類	III	火気厳禁	1000 L

要届出物質 : 非該当

消防法 - 消防活動阻害物質 : 非該当

海事安全

危険物の海上運送規制に関する通達

記載された成分なし。

容器等級

記載された成分なし。

安衡法

特定化学物質障害予防規則

記載された成分なし。

15. 適用法令

鉛中毒予防規則 : 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

記載された成分なし。

名称等を通知すべき危険物及び有害物

記載された成分なし。

発がん性物質

記載された成分なし。

変異原性物質

記載された成分なし。

腐食性液体 : 非該当

労働安全衛生法 : 引火性液体 クラス4

四アルキル鉛中毒予防規則 : 非該当

製造の許可を受けるべき有害物 : 非該当

製造等が禁止される有害物等 : 非該当

危険物 : 非該当

化学物質審査規制法

記載された成分なし。

火薬類取締法

記載された成分なし。

毒物及び劇物取締法 : データなし

日本産業衛生学会 発がん性物質 : 2B類

高圧ガス保安法 : データなし

有機溶剤中毒予防規則 : 該当しない

海洋汚染防止法 : データなし

化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

道路法 : データなし

特別管理産業廃棄物 : 非該当

日本インベントリ : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

製品特有の安全、健康および環境に関する法規 : この製品(その成分を含む)に適用される可能性のある特定の国および/または地域の規則は知られていない。

国際規制

化学兵器禁止条約リストスケジュールⅠ、Ⅱ、Ⅲの化学物質

非該当。

モントリオール議定書

15. 適用法令

非該当。

[残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約](#)

非該当。

[POPおよび重金属に関するUNECEオルフス\(Aarhus\)議定書](#)

非該当。

国際リスト

国別目録

オーストラリア	: 記載されていない成分がある。
カナダ	: 未確定。
中国	: 記載されていない成分がある。
ヨーロッパ	: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
マレーシア	: 未確定
ニュージーランド	: 記載されていない成分がある。
フィリピン	: 記載されていない成分がある。
大韓民国	: 記載されていない成分がある。
台湾	: 記載されていない成分がある。
米国	: 記載されていない成分がある。

16. その他の情報

履歴

印刷日	: 18/01/2021
発行日/改訂版の日付	: 2021年1月18日
前作成日	: 前もって確認されていない

バージョン : 1

参照 : データなし

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。